

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	法学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ（学部） コースワークとリサーチワークのバランス（院）
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供（学部） 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供（院） 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供（専院） 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容（学部）

○2009年度からの目標

1. 前期課程エキスパートコース学生を対象とするカリキュラムの適切性を継続的に検証し、必要に応じて改善する。
2. 前期課程社会人入学者を対象とするリサーチワークの拡大について検討し、順次実施する。
3. 前期課程および後期課程における学生の多様な履修期待に対応するために特講科目等を活用する。

○指標

1. 「プログラム別学生数」「専攻科目」「履修科目」「学生に対するプログラム選択理由等についてのアンケート調査の実施」「拡大大学院問題検討委員会における調査結果の分析および改善提案」
2. 「リサーチワーク対応の科目数」「前期課程社会人入学者を対象とする研究指導のあり方についてのアンケート調査の実施」「拡大大学院問題検討委員会における検討およびその進捗状況の報告」「規定改正ないし内規改正」
3. 「（副題の異なる）特講科目等の開講状況」「特講科目等の履修者数」「特講科目等を開講するための各プログラムおよびプログラム間の調整手続の整備状況」